

平成18年度 埋蔵文化財シンポジウム

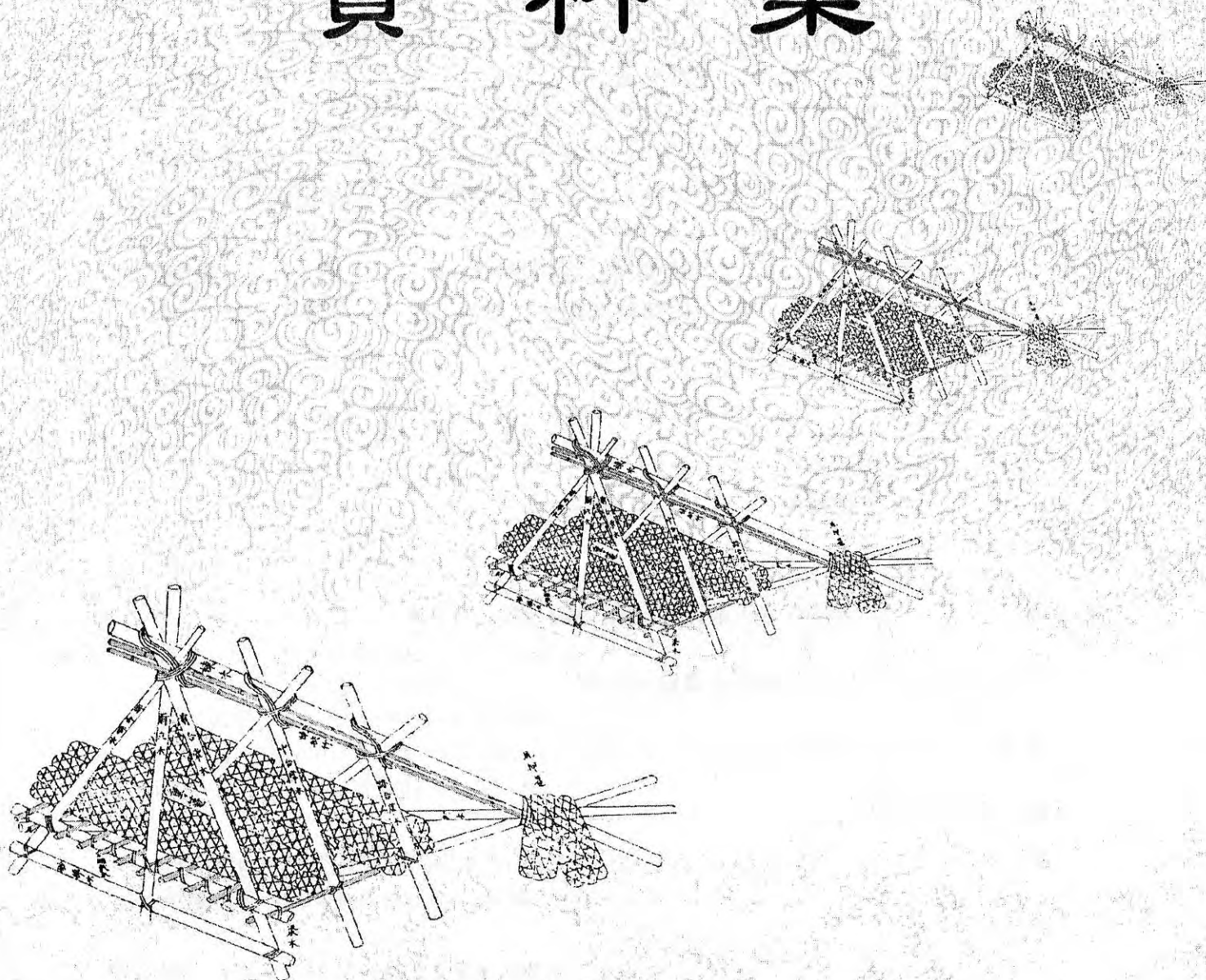
信玄堤

万力林

# 堤防今昔

—治水技術の先進地やまなし—

## 資料集



山梨県埋蔵文化財センター

山梨県立考古博物館

## 堤防今昔の開催にあたって

9世紀後半にまとめられた律令国家の施行の細目である『延喜式』の甲斐国の項には「堤防料二万束」と記述があります。他国で「堤防料」が記されているのは河内国のみであり、山梨は早くも平安時代に堤防工事が国家予算で行われていた治水技術の先進的な地域であることがわかります。

また信玄堤に象徴されるように、戦国時代～江戸時代にも大がかりな治水工事が繰り返し行われてきています。さらに近代に入っても、芦安堰堤や勝沼堰堤などの近代砂防堰堤が先駆的につくられており、山梨県は治水技術の先進地であり続けてきています。

そこで、この『堤防今昔』により、古来より現代までの堤防に着目し、それぞれの時代で堤防が果たした役割を通して、山梨の人々がいかに川と付き合ってきたのかを考えていただくきっかけとなることを願っています。

最後になりましたが、ご多忙の中にシンポジウムにご参加いただいた講師の方々、パネル展のために資料を提供して下さった関係者・関係機関に厚く御礼申し上げます。

山梨県立考古博物館 館長 遠山和男  
山梨県埋蔵文化財センター 所長 末木 健

日 時 平成19年2月24日(土)

会 場 甲府市社会教育センター 4階 大ホール

日 程

13:00～13:05 開会挨拶&趣旨説明

13:10～13:45 「全国の堤防遺跡と山梨の治水技術」

帝京大学山梨文化財研究所 畑 大介

13:45～14:20 「山梨県の堤防遺跡の分布」—分布調査の成果から—

山梨県埋蔵文化財センター 保坂康夫

14:20～14:55 「発掘調査でわかった堤防」—釜無川・御勅使川を中心に—

南アルプス市教育委員会 田中大輔

14:55～15:10 休憩

15:10～16:10 「富士川における歴史的治水施設の水理学的評価」

山梨大学大学院 医学工学総合研究部 砂田憲吾

16:15～16:45 ミニシンポジウム

コーディネーター 山梨県埋蔵文化財センター 末木 健

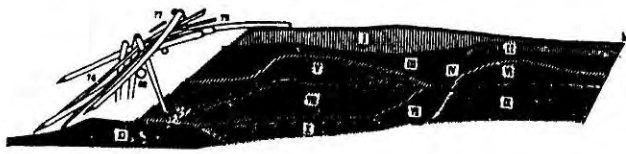
※パネル展『堤防今昔』を併設

# 全国の堤防遺跡と山梨の治水技術

帝京大学山梨文化財研究所 畑 大介

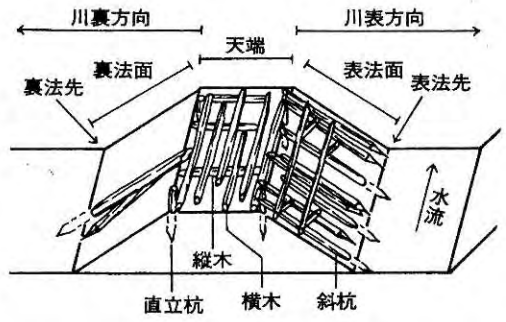
## ① 発掘調査された主要な堤防・護岸施設

No.	名称・遺跡名	所在地	時期	備考
1	鶴町遺跡	福岡県福岡市	弥生後期 ～古墳前期	堤防状遺構→護岸？。横木と立杭の組合せ。
2	顔戸南遺跡	岐阜県御嵩町	4世紀前半～ 5世紀前半	堤防。馬踏、法面に縦木・横木・斜杭等の木組み構造。
3	久宝寺北遺跡	大阪府	5世紀中葉 ～末	護岸。表法や上面に横木や杭を組合せ、上に粘土、草などを盛る。
4	亀井遺跡	大阪府大阪市	5世紀末～ 6世紀初頭	堤防。敷9～10、馬踏6、高1.5～1.8m。敷葉工法。
5	津寺遺跡	岡山県岡山市	6世紀末～ 7世紀前半	護岸？。盛土と木組みの芯構造。構造材使用。
6	五反島遺跡	大阪府吹田市	平安前期	堤防。敷9～14m。砂層の微高地を堤体とする。
7	百間川米田遺跡	岡山県岡山市	10世紀後半	堤防、護岸。堤防は木杭を多数打ち込んで柵を施し、草本類や小枝を敷き詰めながら盛土。
8	古利根川堤防	埼玉県杉戸町	鎌倉	敷26(30)、馬踏7、高さ7.2m。版築、互層構造。
9	十二所居館	静岡県袋井市	13世紀中頃～後半	館の周りの土塁に三角形の張り出しあり。舟型屋敷の祖形か？。
10	柿田遺跡	岐阜県可児市・御嵩町	13世紀後葉～ 16世紀	堤防。杭・横木・構造材を多用した芯構造堤体。
11	窪・萩原遺跡	和歌山県かつらぎ町	中世末～近世初頭	紀ノ川の石積み護岸。高さ約2.1m。「水はね」あり。
12	かすみ堤	山梨県昭和町	17世紀後半か	蛇籠、入樋検出。
13	大和川堤防	大阪府大阪市・藤井寺市	宝永元年(1704)	大和川の川替えに伴う。敷21.5、馬踏5.4、高さ3.5m(左岸)。
14	中尊寺跡	岩手県平泉町	17世紀後半～ 18世紀前半	衣川の石積み護岸と杵類。杵類は3種類。
15	塩川下川原堤防	山梨県韭崎市	近代	近代堤防の脇から、近世～近代の杵類を確認。

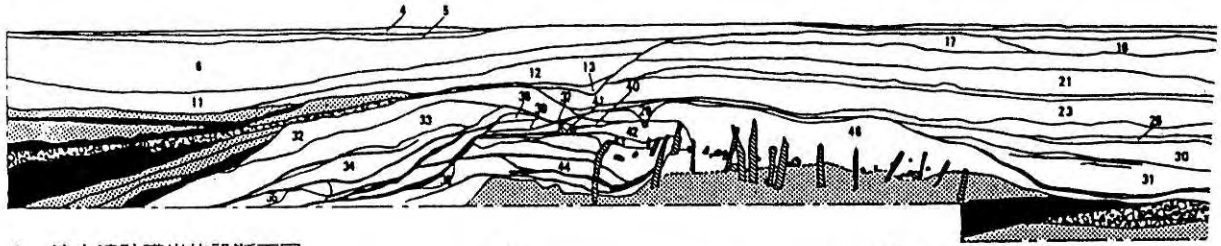


1 鶴町遺跡堤防状遺構断面図

0 2m

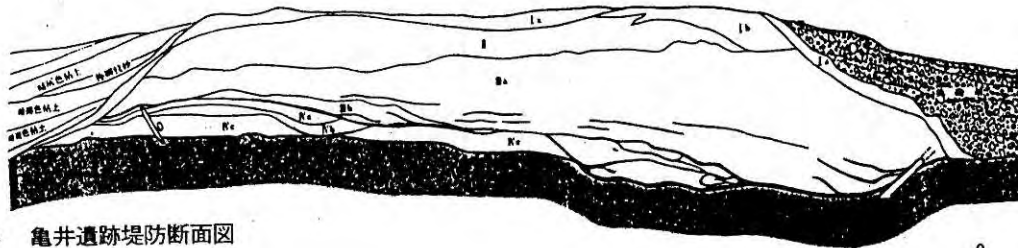


2 顔戸南遺跡堤防模式図



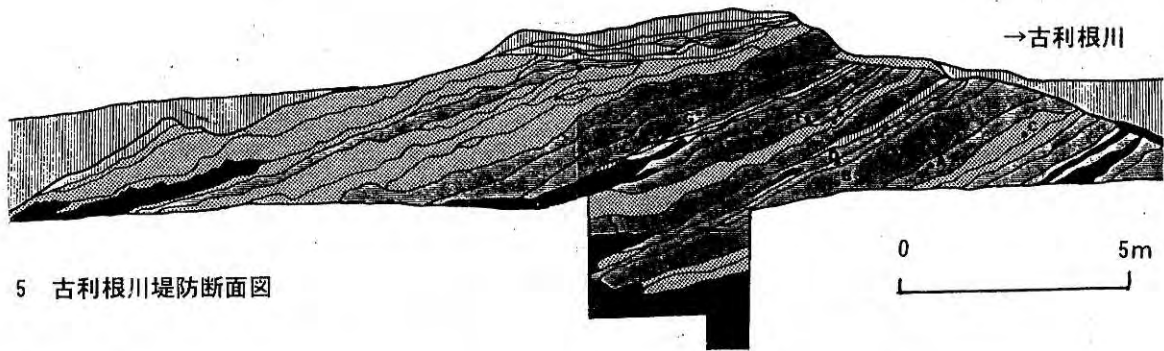
3 津寺遺跡護岸施設断面図

0 4m



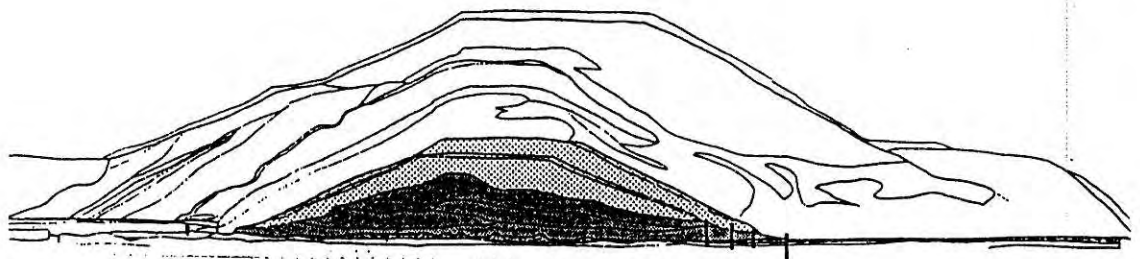
4 亀井遺跡堤防断面図

0 2m



5 古利根川堤防断面図

0 5m



6 大和川左岸堤防断面図(藤井寺市)

0 10m

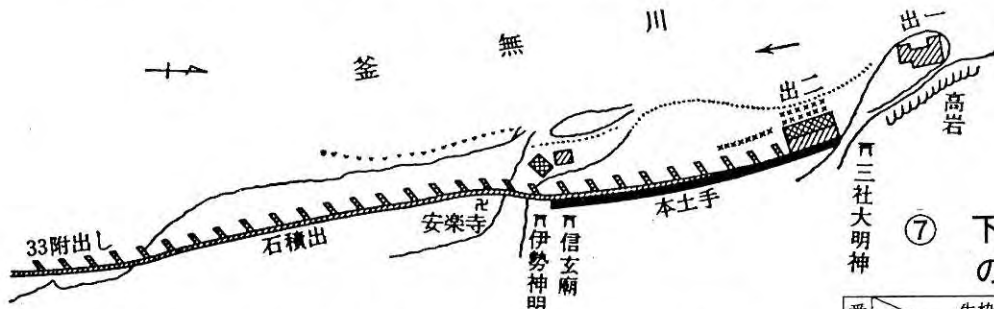
② 堤防・護岸施設断面図等

### ③ 近代以降の「甲州流」のとらえ方

- ・信玄堤をはじめとした武田信玄の治水工法を甲州流と呼ぶもの
- ・「水をもって水を制す」系の治水理念
- ・不連続堤（霞堤）を甲州流と呼ぶもの
- ・牛柵類を甲州流の特徴とするもの

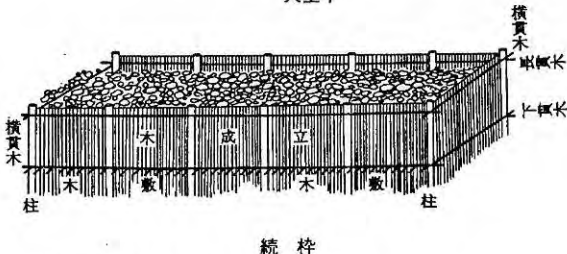
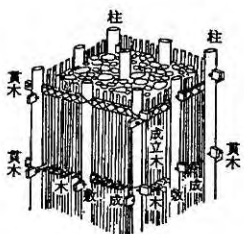
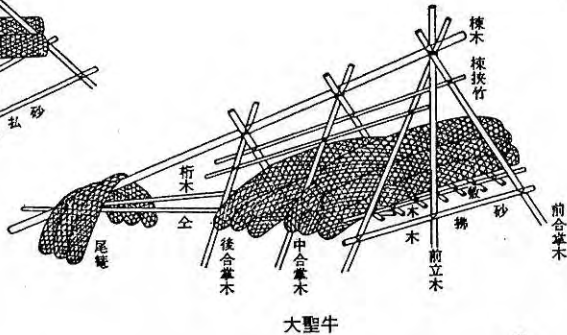
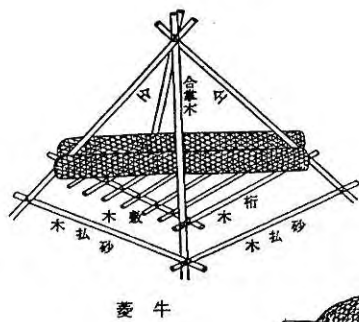
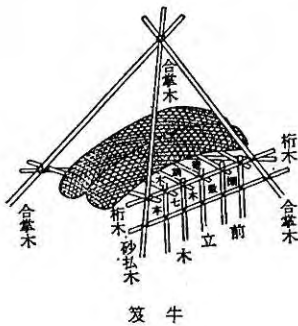
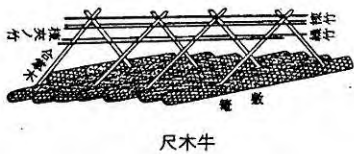
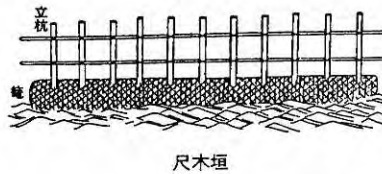
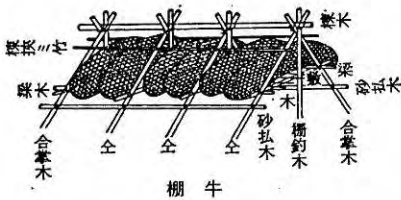
### ④ 近世の地方書等に登場する流派（「……流」という言葉がみられるか否か）

- ・「御普請一件」……紀州流
- ・『地方凡例録』……紀州流
- ・「隄防溝洫志」……関東流・美濃流・紀州流・上方流・元浄流



⑦ 下条南割村（韮崎市）の牛柵類

### ⑤ 貞享5年（1688）の信玄堤



番号	年代	牛柵類	欄	菱	中	大	大	中	沈	小	合	
			牛	牛	牛	聖	川	大	中	沈	小	合
1	安永10年(1781)		○	○								
2	天明8年(1788)		○	○								
3	寛政元年(1789)		○	○								
4	寛政12年(1800)		○	○								
5	享和3年(1803)		○	○								
6	文化2年(1805)		○	○								
7	文化4年(1807)		○	○								
8	文化5年(1808)		○	○								
9	文化7年(1810)		○	○								
10	文化11年(1814)		○	○								
11	文化14年(1817)		○	○								
12	文政6年(1823)		○	○								
13	天保2年(1831)		○	○								
14	天保3年(1832)		○	○								
15	天保4年(1833)		○	○								
16	天保6年(1835)		○	○								
17	天保7年(1836)		○	○								
18	天保8年(1837)		○	○								
19	天保9年(1838)		○	○								
20	天保11年(1840)		○	○								
21	天保12年(1841)		○	○								
22	天保14年(1843)		○	○								
23	天保15年(1844)		○	○								
24	弘化3年(1846)		○	○								
25	弘化4年(1847)		○	○								
26	弘化5年(1848)		○	○								
27	嘉永元年(1848)		○	○								
28	嘉永4年(1851)		○	○								
29	嘉永7年(1854)		○	○								
30	安政2年(1855)		○	○								
31	安政3年(1856)		○	○								
32	安政4年(1857)		○	○								
33	安政5年(1858)		○	○								
34	安政6年(1859)		○	○								
35	安政7年(1860)		○	○								
36	万延2年(1861)		○	○								
37	文久元年(1861)		○	○								
38	文久3年(1863)		○	○								
39	文久4年(1864)		○	○								
40	元治2年(1865)		○	○								
41	慶応元年(1865)		○	○								
42	慶応2年(1866)		○	○								
43	慶応3年(1867)		○	○								
44	慶応4年(1868)		○	○								
45	明治元年(1868)		○	○								
46	明治2年(1869)		○	○								
47	明治3年(1870)		○	○								

### ⑥ 『地方凡例録』の牛柵類

⑩ 牛柶類の時的推移 (国中地域)

牛柶類	1700				1750				1800				1850 (西暦)			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
牛垣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
木柶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大柶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
尺柶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
尺木柶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大聖牛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中聖牛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大川倉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川倉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沈柶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大柶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中柶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小柶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沈大	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
統	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
掌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑧ 『地方凡例録』 (柶牛の項)

て用ふるなり、(元来柶牛・大聖牛・尺木牛・柶木牛・菱牛・尺木垣等は甲州にて古来より用ひ、信玄工夫の川除の由、享保年中以前は余国には余り無かりしに、享保以来右の類の川除を用ふる様に成たり) 柶牛の仕方は右に図せるごとく切破風家根の如くにして、合掌木の長さ二間、

⑪ 河川ごとの牛柶類

河川名	本支流	牛柶類													
		牛垣	木柶	大柶	尺木柶	尺木牛	菱牛	大聖牛	中聖牛	大川倉	川倉	沈柶	大柶	中柶	小柶
釜無川	本流	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	支流	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
笛吹川	本流			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	支流	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
荒川	本支流			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	支流	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
富士川	本流	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	支流	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

⑨ 穴山信君判物写 (山野安堵)

信君書印

川除材木并籠藤等者可出、其外野山木草之儀、山神より身

延境、早河切可為計者也、仍如件、

永祿五年

佐野兵佐 奉之

卯月十五日

望月藤左衛門尉

⑫ 江戸時代に造られた牛類

No.	河川名	国名 (県名)	牛類
1	酒匂川	相模国 (神奈川県)	柶牛・菱牛
2	富士川	駿河国 (静岡県)	大聖牛・柶牛・笄牛
3	安部川	駿河国	中聖牛・柶牛・笄牛
4	大井川	駿河・遠江国 (同)	大聖牛・中聖牛・柶牛・菱牛・笄牛
5	天龍川	信濃 (長野県)・遠江国	大聖牛・中聖牛・菱牛・笄牛・大菱牛

○内閣文庫所蔵  
「甲州古文書」